

香川県版

電子納品検査閲覧チェックシステム [キヤルチェック]

# Calcheck Ver.14

Calcheckチェック専用版

利用マニュアル

## 目 次

<b>1. 概要</b> .....	<b>1</b>
1-1 システムの基本機能 .....	1
1-2 システムの機能概要 .....	1
1-2-1 対応する要領・基準 .....	1
1-2-2 動作環境.....	1
1-2-3 電子納品データのチェック手順 .....	2
<b>2. インストール</b> .....	<b>3</b>
2-1 システムのインストール.....	3
2-2 バージョンアップ .....	6
2-2-1 再インストールによるバージョンアップ.....	6
2-2-2 差分プログラム適用によるバージョンアップ .....	6
2-3 システムのアンインストール.....	7
<b>3. システムの使い方</b> .....	<b>8</b>
3-1 システムの起動.....	8
3-2 電子納品データの取り込み .....	9
3-3 チェック機能設定 .....	11
3-4 電子納品データのチェック .....	12
3-5 エラー内容の確認.....	14
3-6 チェック結果の印刷 .....	15
3-7 チェック結果のファイル出力.....	17
3-8 別の電子納品データを開く .....	18
3-9 システムの終了.....	19

## 1. 概要

### 1-1 システムの基本機能

香川県版電子納品チェックシステムは、電子成果品(CD-R 等)のデータを「香川県 電子納品情報共有運用ガイドライン (案)」に従って、チェックを行う為のシステムです。

### 1-2 システムの機能概要

#### 1-2-1 対応する要領・基準

香川県版電子納品チェックシステムは、「香川県 電子納品情報共有運用ガイドライン (案)」に対応しています。

(ガイドラインの内容については、各ガイドラインを参照してください。)

#### 1-2-2 動作環境

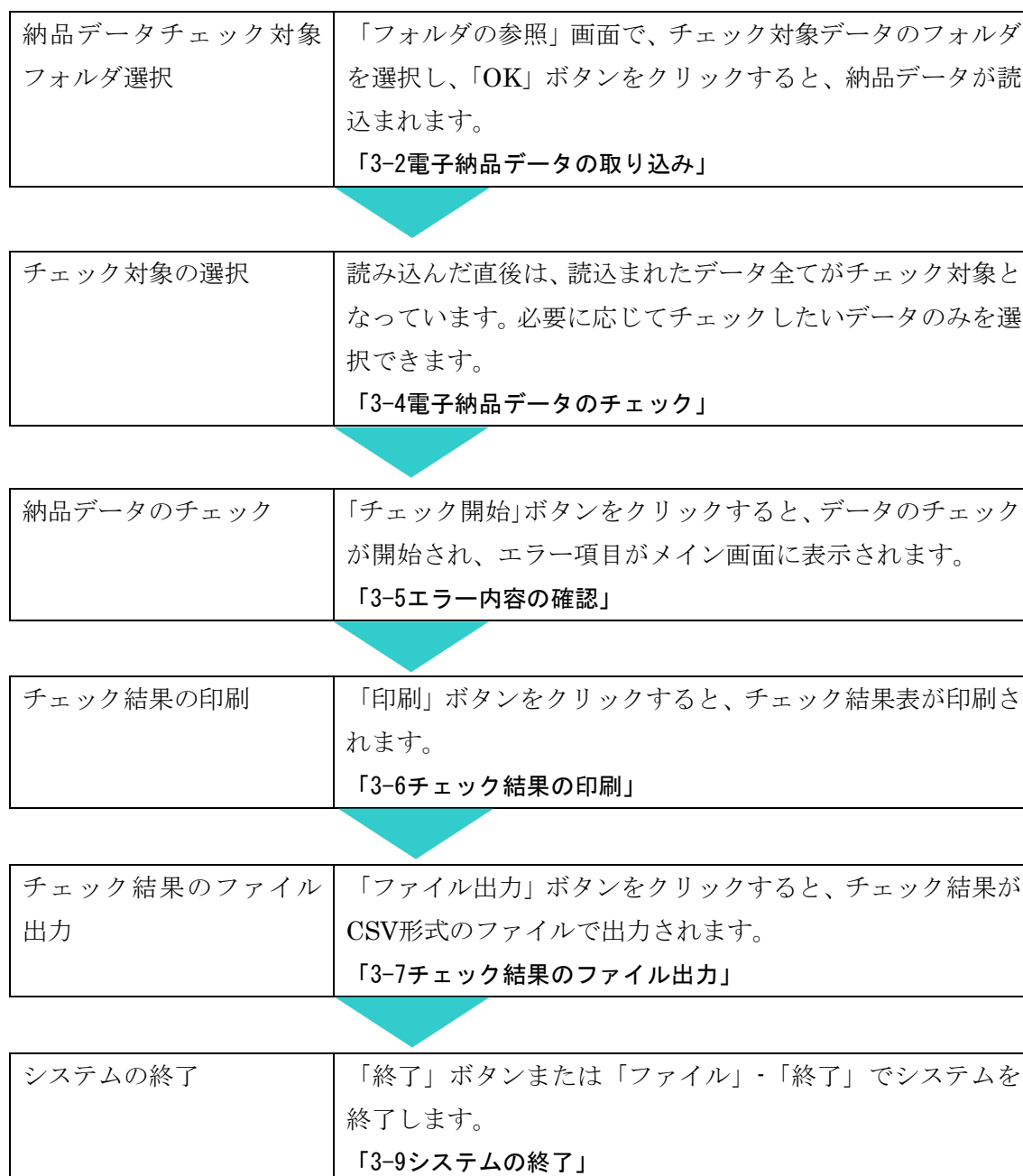
香川県版電子納品チェックシステムの推奨環境は以下のとおりです。

下記以外のOSは動作保証対象外です。

CPU	PentiumII 233MHz 以上を推奨
メモリ	128MB 以上(256 以上を推奨)
OS	VISTA(32bit), 7(32/64bit 対応)、8(32/64bit 対応)、10(32/64bit 対応)
ハードディスクの 空き容量	約 200MByte 以上(システム本体)

### 1-2-3 電子納品データのチェック手順

本システムを利用して電子納品媒体をチェックする手順を以下に示します。

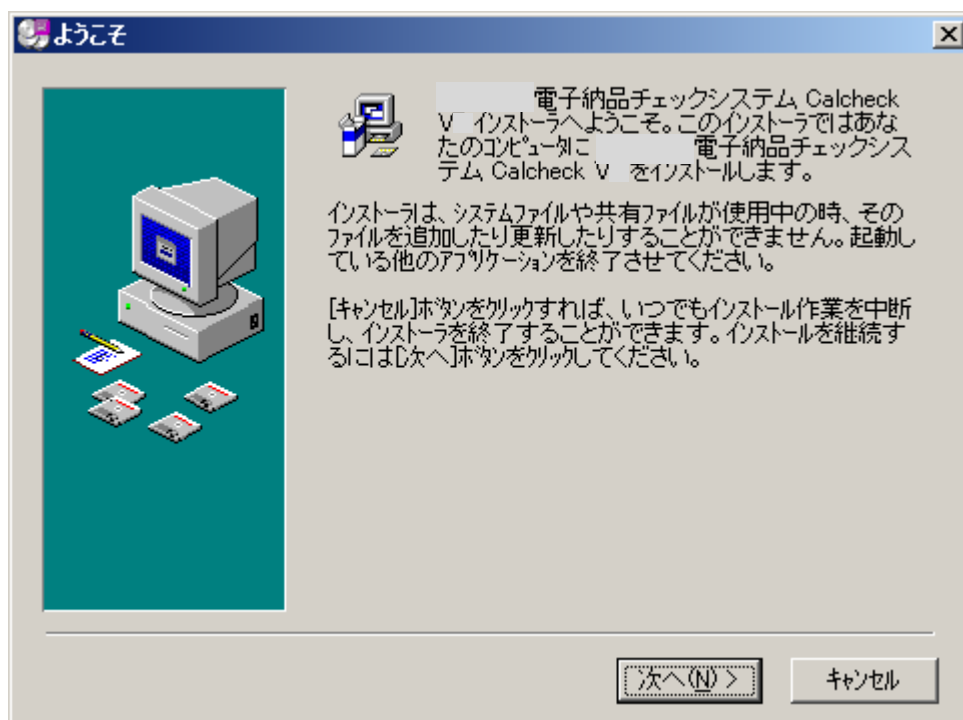


## 2. インストール

### 2-1 システムのインストール

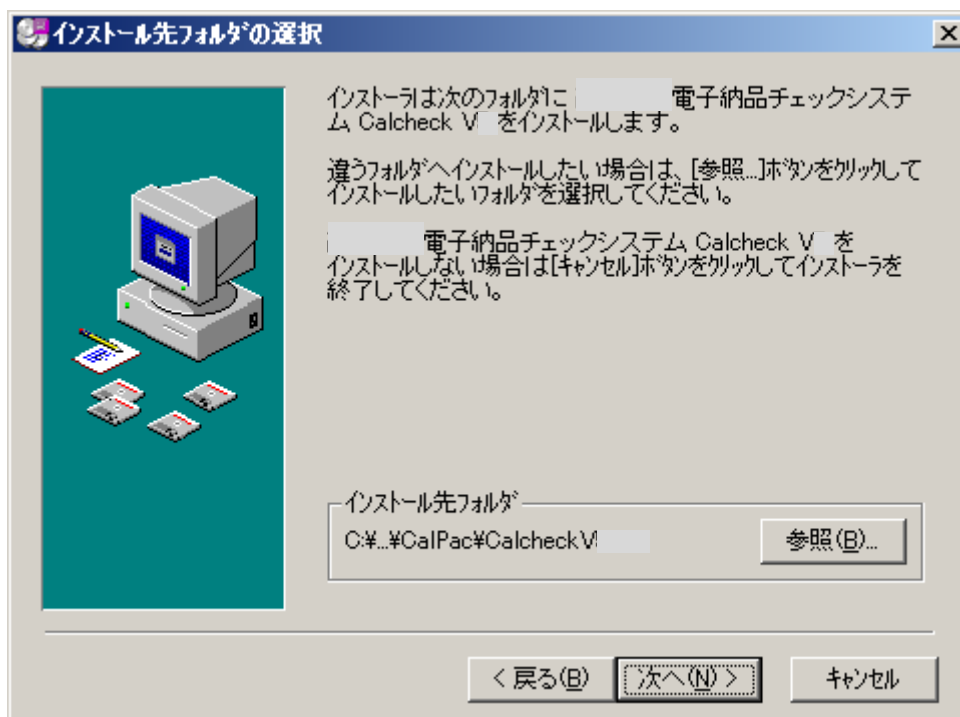
エクスプローラーでセットアッププログラム「fi14\_37\_free.exe」をダブルクリックして起動します。

セットアッププログラムを起動すると以下の画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



以下の画面でシステムをインストールするディレクトリを変更する場合は「参照」ボタンをクリックして指定します。

通常はこのまま「次へ」をクリックします。



以下の画面でスタートメニューのグループ名を変更する場合は、入力します。

通常はこのまま「次へ」をクリックします。



以下の画面で「次へ」をクリックするとインストールを開始します。



以下の画面で「完了」ボタンをクリックすると、インストール完了です。



## 2-2 バージョンアップ

バージョンアップには、次の 2 通りがあります。いずれの場合も香川県版電子納品チェックシステムのホームページ([www.system-inn-kokusai.co.jp/kagawacal/](http://www.system-inn-kokusai.co.jp/kagawacal/))の「ダウンロード」コーナーより、必要なデータをダウンロードしてください。

### 2-2-1 再インストールによるバージョンアップ

【バージョン番号の 1 桁目に変更された場合】

旧バージョンのシステムをアンインストールしてから、新バージョンのシステムを改めてインストールします。

「2-1 システムのインストール」および「2-3 システムのアンインストール」を参照してください。

### 2-2-2 差分プログラム適用によるバージョンアップ

【バージョン番号の 2 桁目、3 桁目に変更された場合】

Ver 14.0.0 => Ver 14.0.2」等の小規模機能追加、不具合修正等によるバージョンアップの場合は差分プログラムを適用します。

修正ファイルをホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

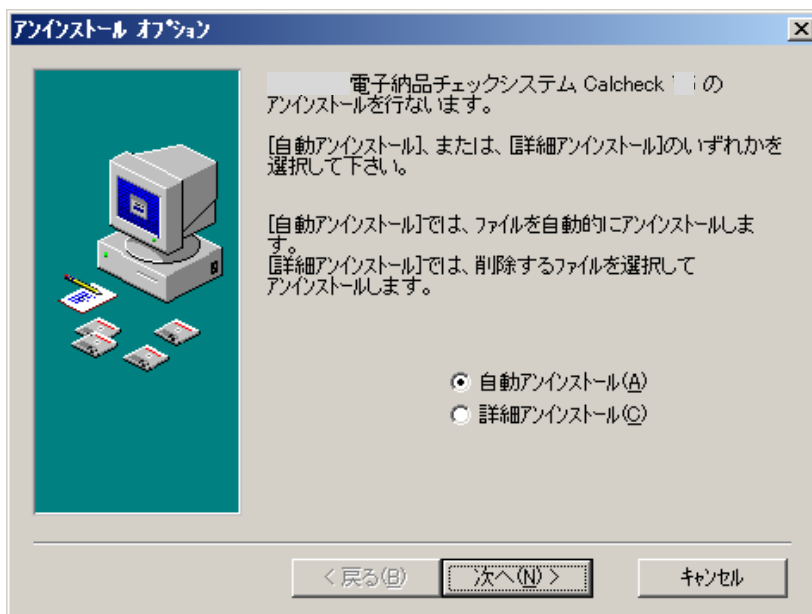


### 2-3 システムのアンインストール

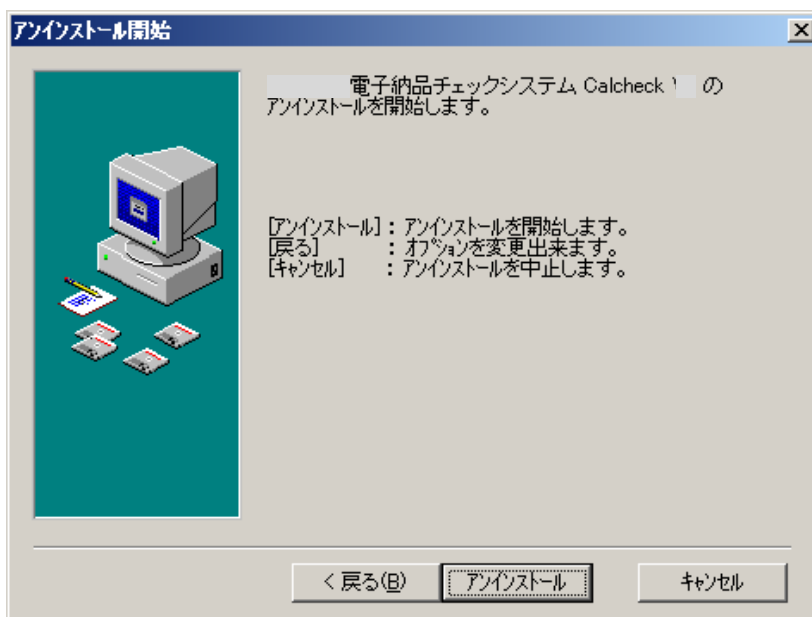
パソコンの画面左下の「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開きます。

「アプリケーションの追加と削除」を起動し、「香川県版電子納品チェックシステム」を選択し「削除」ボタンをクリックします。

以下の画面で、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



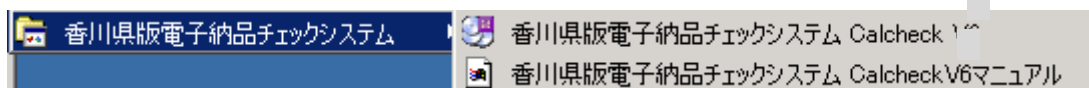
「アンインストール」をクリックすると、アンインストールを開始します。但し、インストール後にシステムフォルダ(C:\Program Files\CalPac\CalcheckV○○)を移動、あるいはファイルを削除している場合等は、正しくアンインストールができません。ご注意ください。



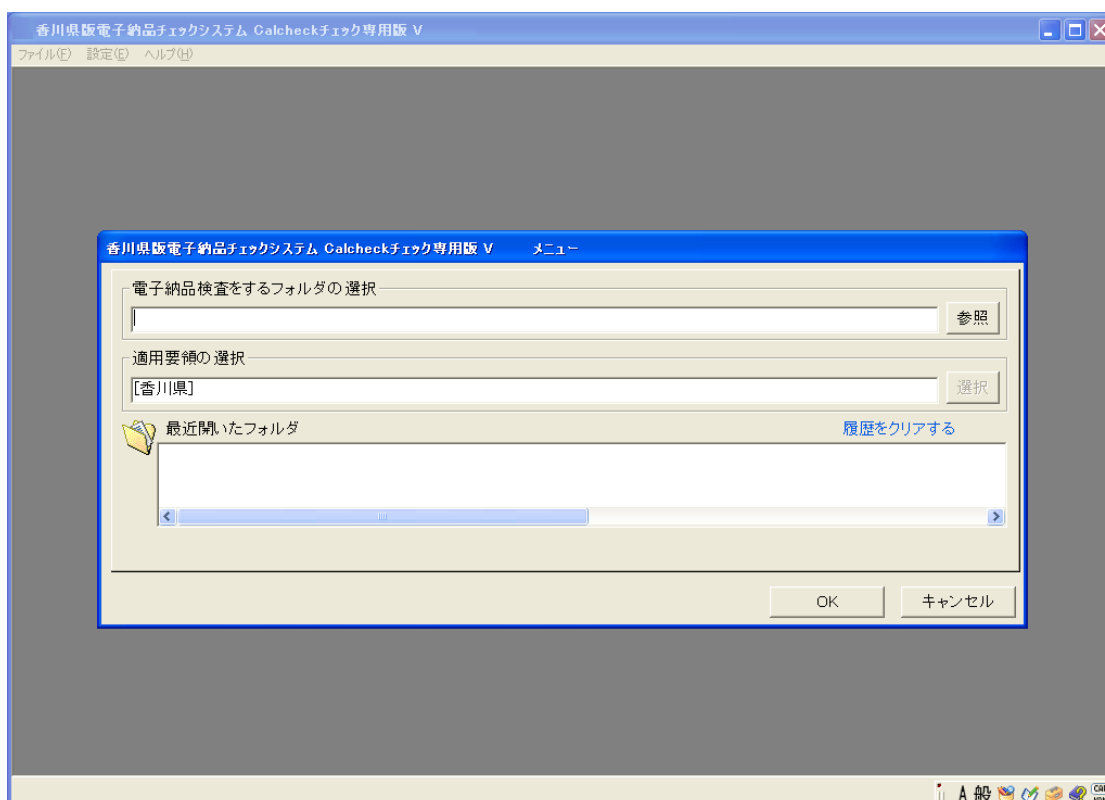
### 3. システムの使い方

#### 3-1 システムの起動

1. スタートメニューから「香川県版電子納品チェックシステム Calcheck V〇〇」を起動します。

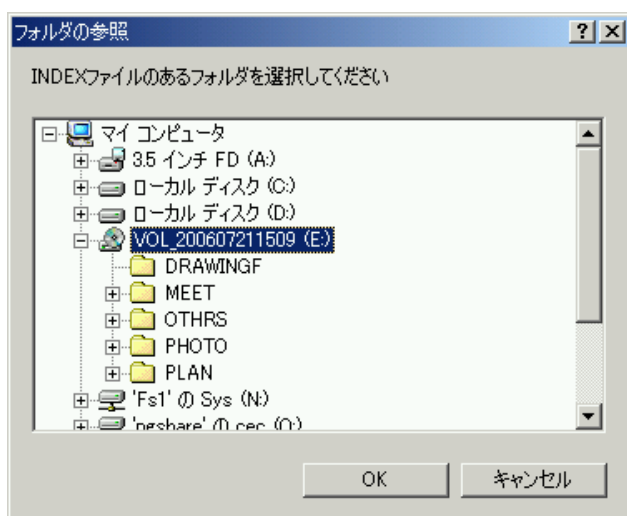


2. メイン画面と起動メニュー画面が開きます。

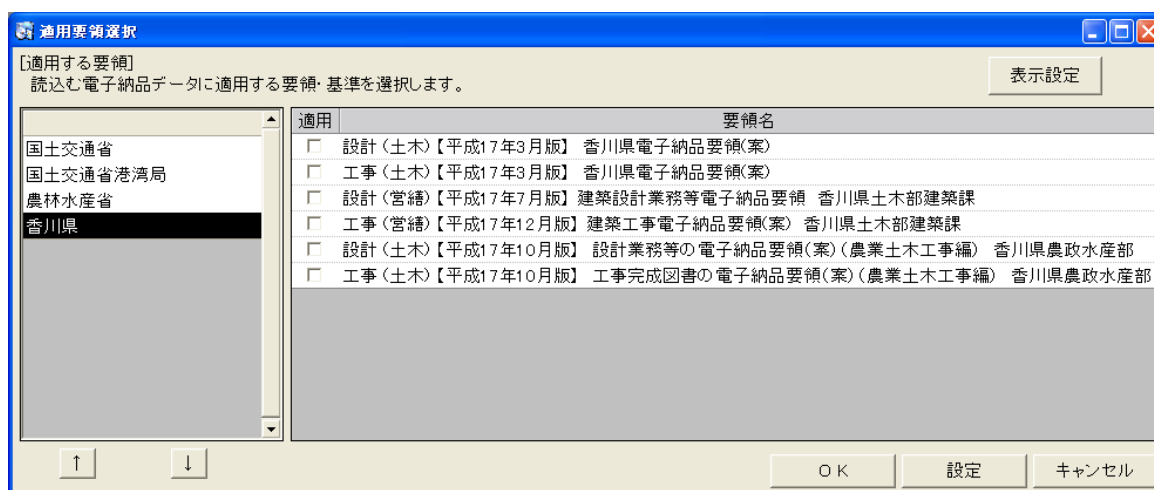


### 3-2 電子納品データの取り込み

1. 「電子納品検査をするフォルダ」の「参照」ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」画面が表示されますので、取り込む電子納品データの INDEX ファイルのあるフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



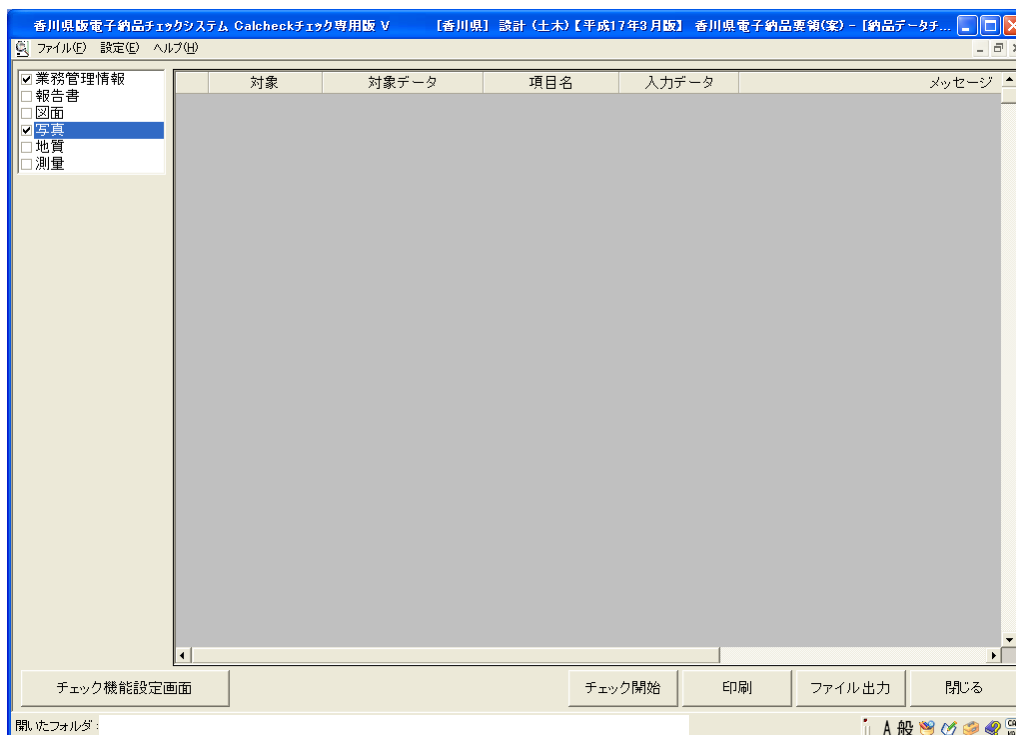
2. 「適用要領選択」画面が表示されます。「適用要領選択」画面で適用するガイドラインにチェックをつけ、「OK」ボタンをクリックします。



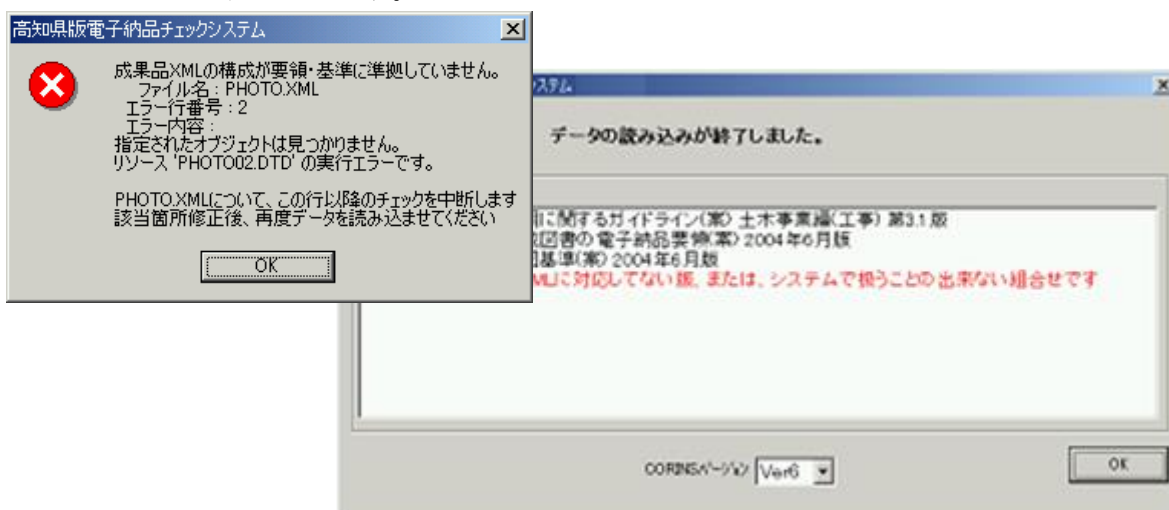
※「設定」ボタンをクリックすると、「Calcheck メニュー」画面に戻り、現在の設定を確認することが出来ます。

※「表示設定」ボタンをクリックすると、「適用要領選択」画面に表示する要領の表示／非表示を指定することが出来ます。表示したい要領のみにチェックをして「設定」ボタンをクリックします。「全て」にチェックをすることで、すべての要領に対し表示／非表示を切り替えることができます。

3. データが取り込まれ、先に設定した適用要領（工事の場合は CORINS バージョン）が表示されます。
4. 「OK」 ボタンをクリックします。
5. 納品データチェック画面が表示されます。



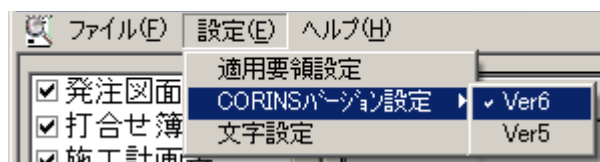
※読み込んだ電子納品データの要領の組み合わせが違っている、XML の文法が誤っている、または、読み込んだデータの要領が最新でない場合は、適用要領画面に注意メッセージが表示されます。



上図は、写真の PHOTO. XML の文法が誤っているために表示されたエラー画面です。「OK」 ボタンをクリックすると、写真データ以外のデータが読み込まれます。

### 3-3 チェック機能設定

“工事”の場合は「設定」メニューで、チェックの際に利用する CORINS バージョンを変更することができます。



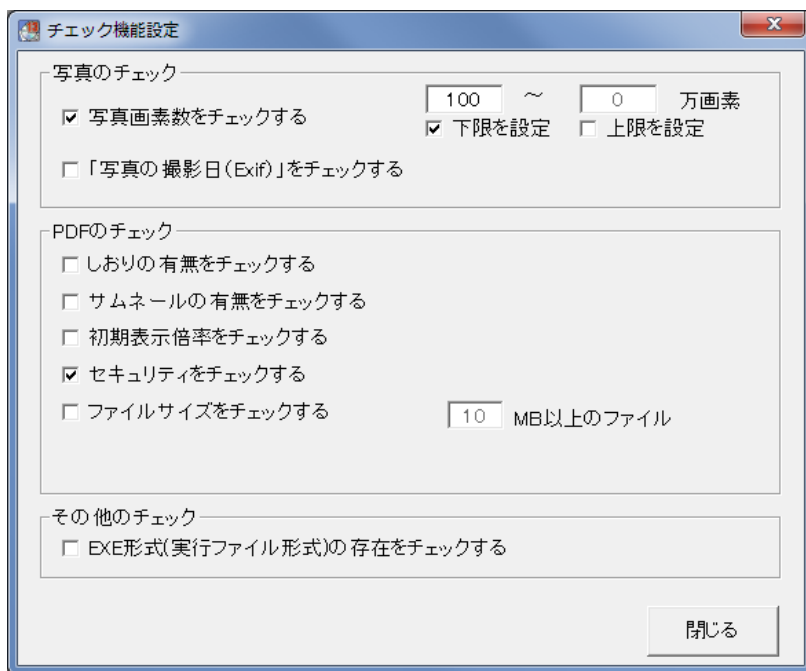
※一度設定すれば、システムを終了してもその設定は保持されます。

### 3-4 電子納品データのチェック

1. 納品データを読み込んだ直後は、読込んだ全てのデータがチェック対象となっています。必要に応じて個別に選択できます。

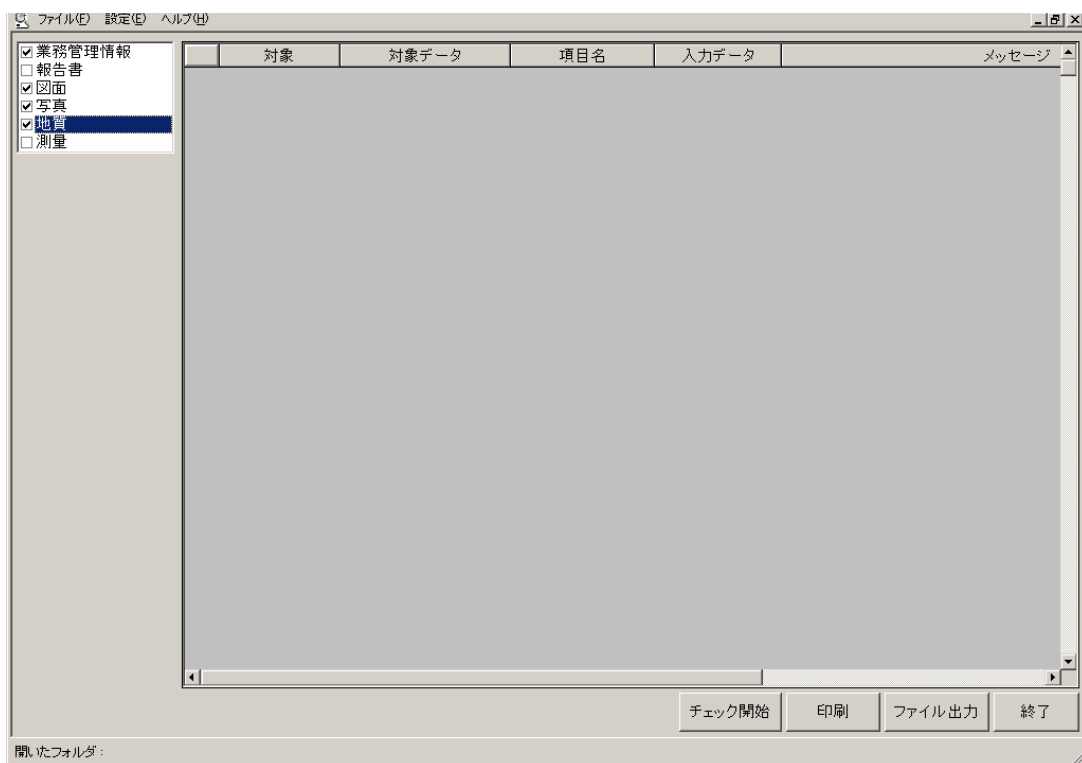
例えば、写真のみをチェックする場合は「写真」だけをチェック対象としてください。

また、「チェック機能設定画面」ボタンをクリックすると、チェック内容の設定を切り替えることができます。必要に応じ、設定してください。

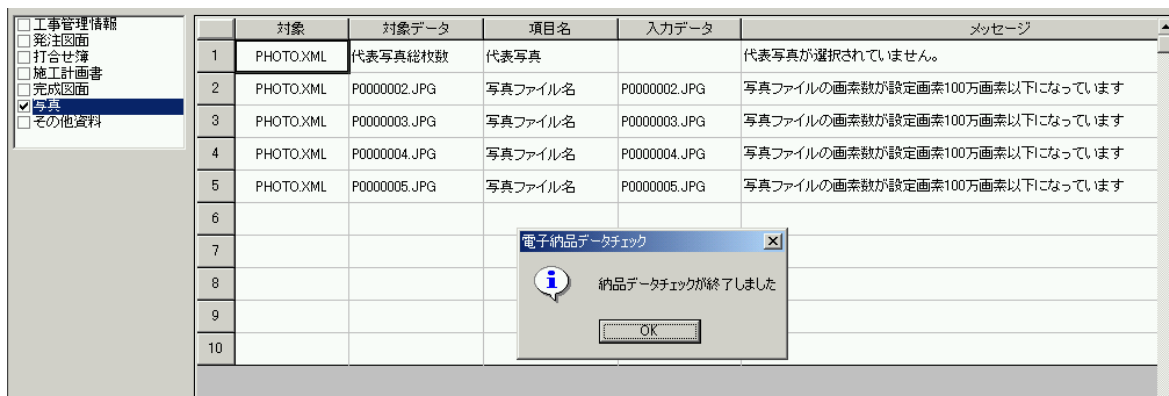


項目		説明
チェック機能設定画面	写真のチェック	写真画素数、写真ファイル内に記録されている撮影日の情報をチェックする場合、チェックをつけます。
	PDF のチェック	PDF に関するチェックをする場合、チェックをつけます。
	その他のチェック	EXE 形式ファイルの存在をチェックします

次に、「チェック開始」ボタンをクリックするとチェックを開始します。



2. しばらくするとチェックが終了し、エラーがある場合はエラー項目がメイン画面に表示されます。



### 3-5 エラー内容の確認

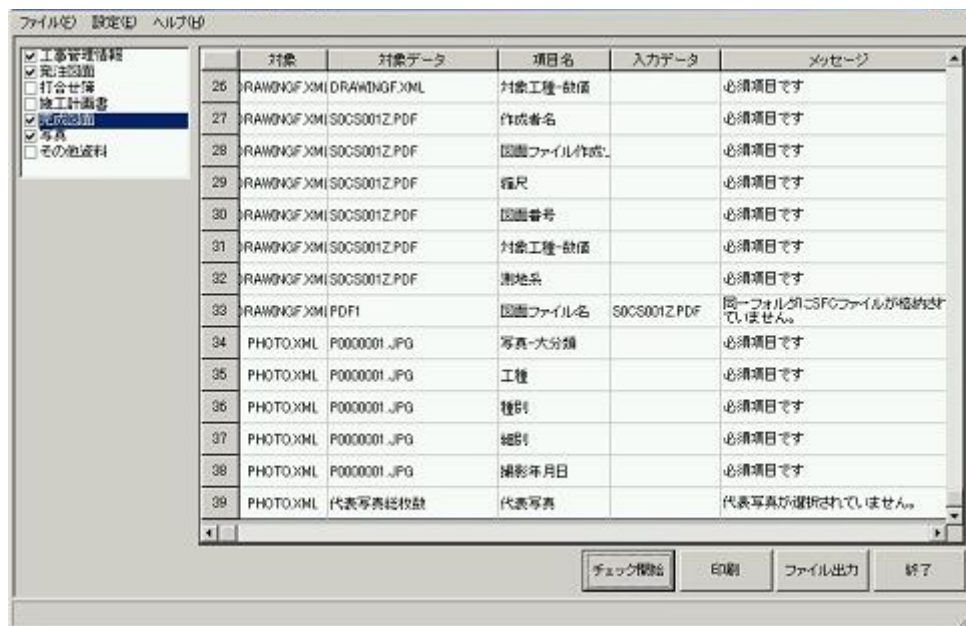
1. エラー内容を確認します。



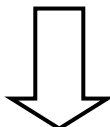
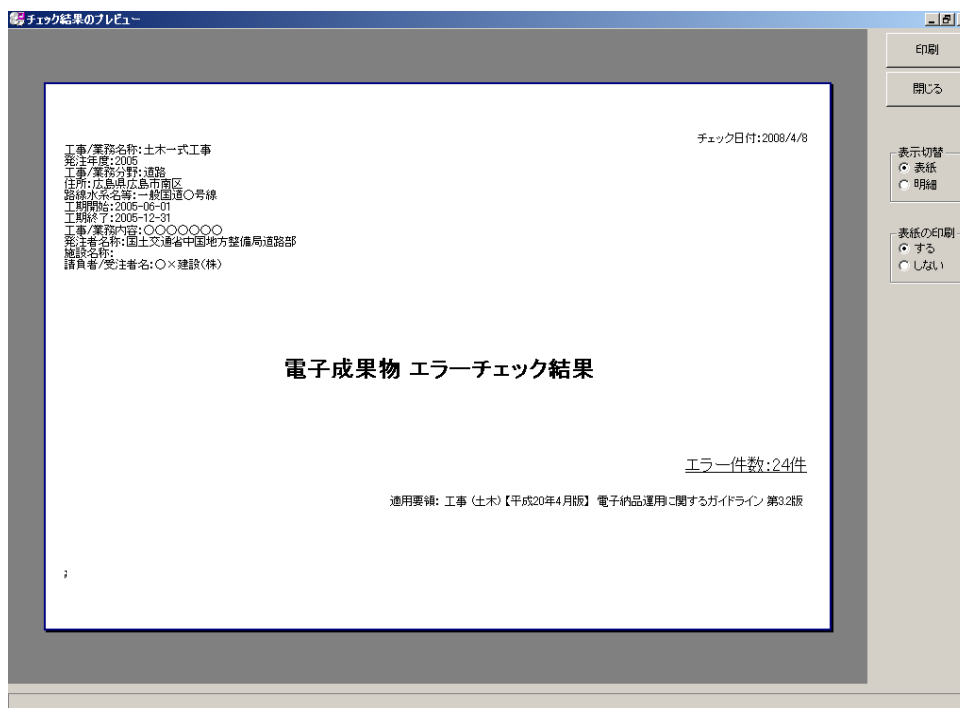


### 3-6 チェック結果の印刷

1. 「印刷」ボタンをクリックします。



2. プレビュー画面が表示されます。画面右にある「表示切替」チェックを切り替えることで表紙と明細の表示を切り替えることができます。内容を確認していただき「印刷」ボタンをクリックすると、結果内容が印刷されます。



チェック日付: 2006/8/4

工事/業務名称: ○○工事  
 発注年度: 2006  
 工事/業務分野: 河川  
 住所: 高知県 ○○市 ○○  
 路線水系名等: ○○川  
 工期開始: 2006/05/01  
 工期終了: 2006/8/31  
 工事/業務内容: ○○  
 発注者名称: ○○  
 施設名称: ○○  
 請負者/受注者名: ○○建設

## 電子成果物 エラーチェック結果

**エラー件数: 34件**

適用要領:

国土交通省 工事完成図書 の 電子納品要領(案) 2004年6月版  
 国土交通省 CAD製図基準(案) 2004年6月版  
 国土交通省 デジタル写真管理情報基準(案) 2006年1月版

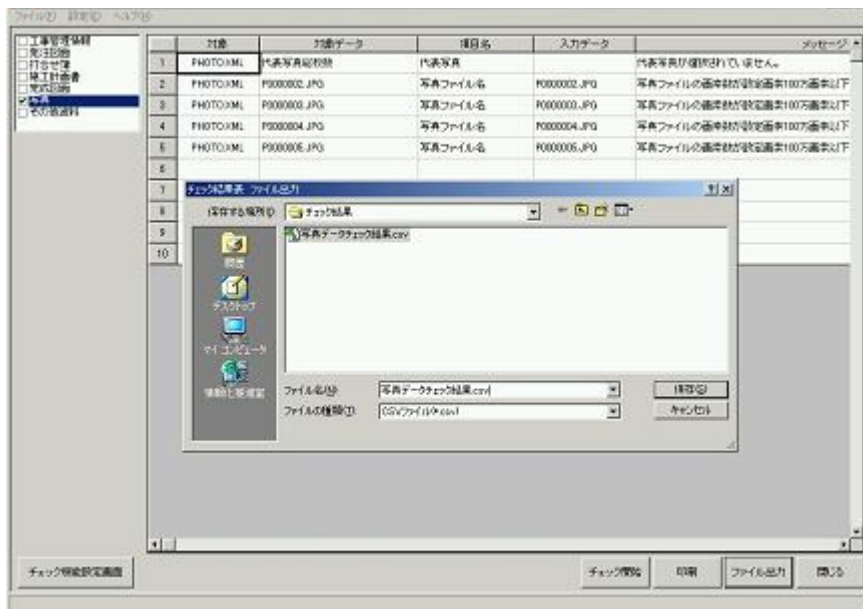
電子納品チェックシステム Version3.12

メッセージ	
新規-基準に変更された入力欄「土木200406-01」が入力されていません。	必須項目です
入力されている日付がDDYY-MM-DD形式になっていません。	
入力されている日付がDDYY-MM-DD形式になっていません。	
新規-基準に変更された入力欄が入力されていません。「00」、「01」のいずれかを入力してください。	
入力データの文字数が文字を超えています	
新規-基準に変更された入力欄が入力されていません。「0」-「3」の範囲内の値を入力してください。	
新規-基準に変更された入力欄が入力されていません。「00」、「01」、「02」、「03」、「10」、「20」、「30」、「89」のいずれかを入力してください。	
設定されている座標値が日本の国土を含む境界座標の範囲外になっています。	
必須項目です	
必須項目です	
必須項目です	
必須項目です	
CPDS-発注者コードにないデータが入力されているか、古い発注者コードが入力されている。	
ファイルフォーマットが正ではありません。	
必須項目です	
必須項目です	
必須項目です	
必須項目です	
必須項目です	
必須項目です	

No.	ファイル名	ファイル内容	備考	必須項目
17	PLAN.XML	Project	オリジナルファイル内容	必須項目です
18	DRAWING.XML	DRAWING.XML	対象工種-数量	必須項目です
19	DRAWING.XML	SICS001.Z.PDF	作成者名	必須項目です
20	DRAWING.XML	SICS001.Z.PDF	図面ファイル名称/ソフトウェア	必須項目です
21	DRAWING.XML	SICS001.Z.PDF	種別	必須項目です

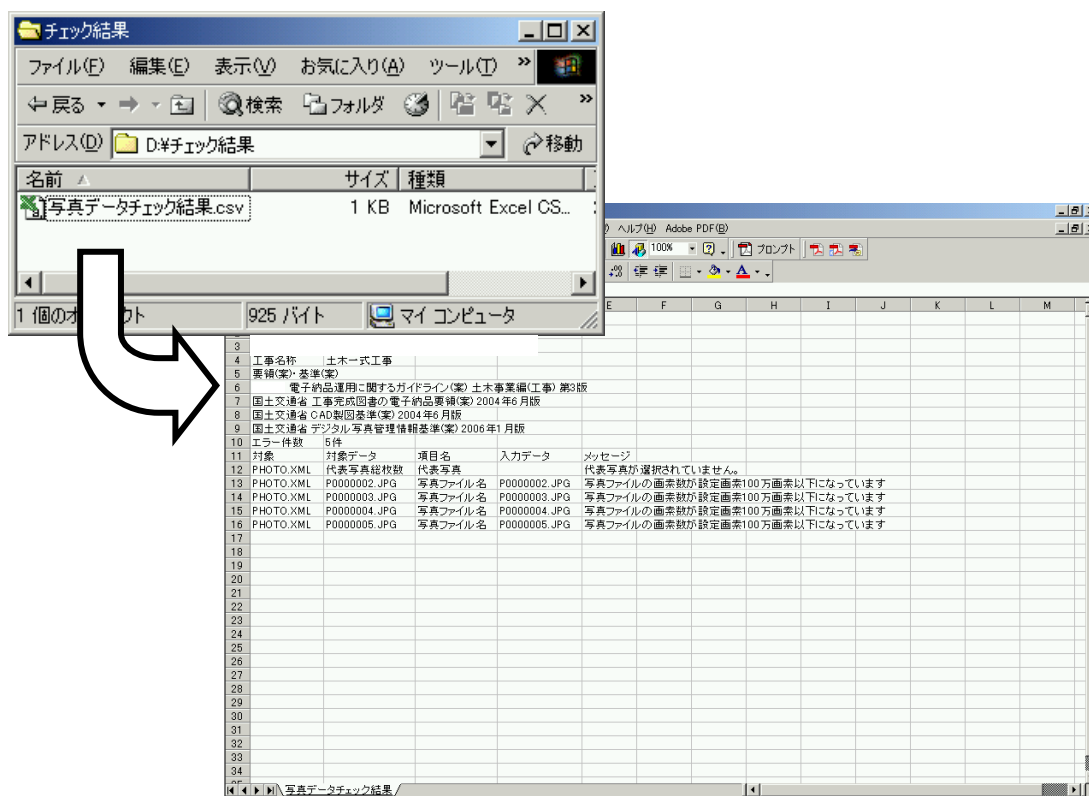
### 3-7 チェック結果のファイル出力

1. 「ファイル出力」ボタンをクリックします。すると、「チェック結果表ファイル出力」画面が表示されるので、保存先およびファイル名を指定して保存します。



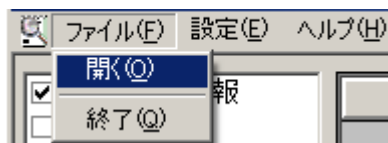
上記例では、「チェック結果」フォルダに「写真データチェック結果.csv」というファイル名で保存しています。

2. CSV形式で、チェック結果が出力されます。Excel等で開くことができます。

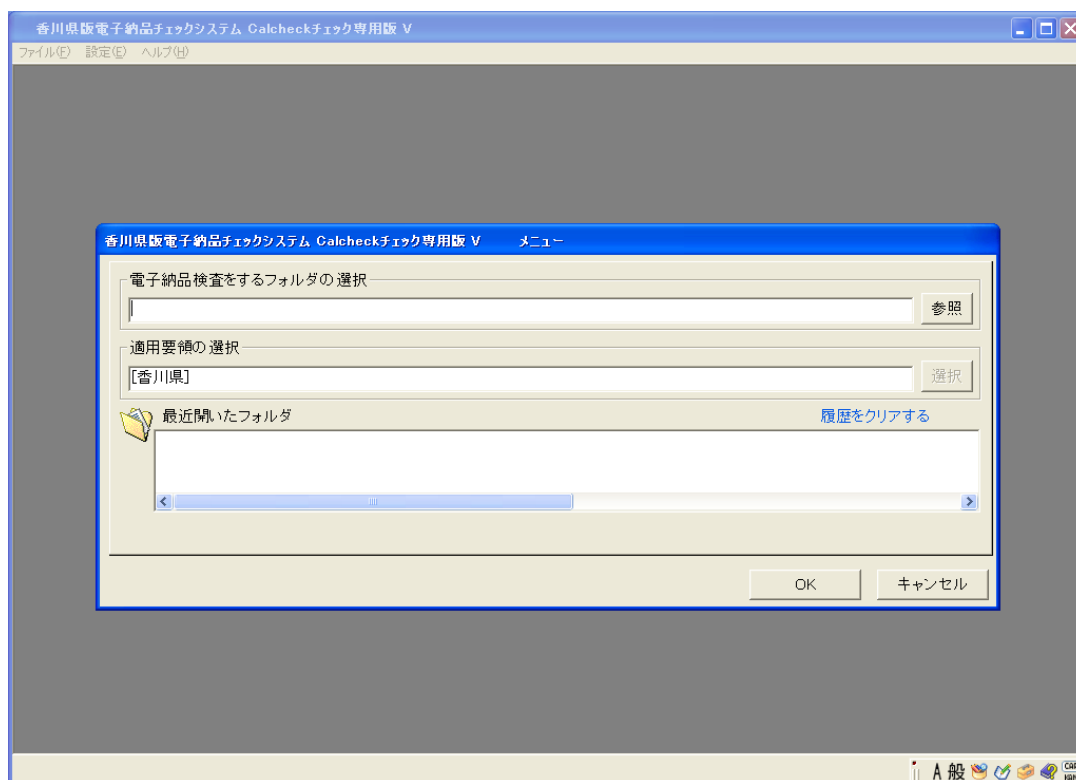


### 3-8 別の電子納品データを開く

1. 「ファイル」 - 「開く」 をクリックします。



2. 今まで開いていたデータの表示は終了し、「ファイルの参照」画面が表示されます。



3. 新たに電子納品データを読み込みます。（「3-2 電子納品データの取り込み」参照）

### 3-9 システムの終了

1. 画面右下の「終了」ボタンまたは、メニューバー「ファイル」－「終了」のクリックで、システムを終了します。

